

血液検査実施の手引

I. 概要と試料の取り扱い

血液検査部門の調査を行います。データ入力には細心の注意をお願いします。

1. 試料一覧

試料番号	41	42
ラベル名	血液検査 試料 41	血液検査 試料 42
試料内容	全血液	全血液
検査項目 容量	1.5mL	1.5mL
ヘモグロビン濃度	●	●
血小板数	●	●
白血球数	●	●
赤血球数	●	●
平均赤血球容積 (MCV)	●	●
ヘマトクリット値	●	●

【試料取扱注意事項】

- 試料を受け取りましたら速やかに外観上の確認をお願いします。万が一、試料に破損、溶血、凝固等を認めた場合はご連絡ください。
- 試料 41、42 は新鮮血（生血）を使用していますので、**試料到着日に測定**してください。速やかに測定できない場合は冷蔵庫に保管し、なるべく早く測定してください。

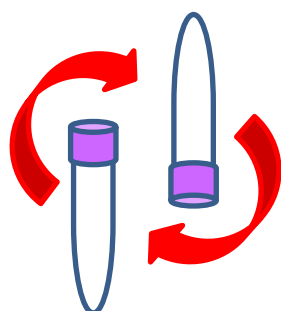
2. 対象項目

ヘモグロビン濃度・血小板数・白血球数・赤血球数・平均赤血球容積 (MCV)・ヘマトクリット値

II. サーベイ実施方法及び注意事項

1. 測定について

- 試料 41、42 を室温に **15 分間静置**してください。その後、**穏やかに転倒混和**（10 回以上）を行い、充分に混和してください。（激しく振ることは絶対に避けてください）



試料（採血管）の天地を一旦ひっくり返してから元の状態に戻す
これを 10 回繰り返す

- 容器の底に塊がないことを確認し、よく混和された状態で測定してください。なお、マニュアルモードとクローズドモード両者での測定方法がある機器はマニュアルモードで測定してください。
- すべての機器で患者検体を測定するモードで測定してください。
- アボットジャパンのセルダイナルビーをご使用の施設は、白血球数はNOC（有核細胞計測）で測定した数値を報告してください。

2. 結果入力について

- 測定した日時を必ず入力**してください。
- 測定値を入力する場合は小数点の位置に十分注意してください。また、小数点以下が0の場合でも0を入力してください。
- ヘモグロビン濃度の単位はg/dLとし、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを入力してください。
- 血小板数の単位は $\times 10^3/\mu\text{L}$ とし、小数点第1位を四捨五入し整数を入力してください。
- 白血球数の単位は $\times 10^3/\mu\text{L}$ とし、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを入力してください。
- 赤血球数の単位は $\times 10^6/\mu\text{L}$ とし、小数点第3位を四捨五入し小数点第2位までを入力してください。
- 平均赤血球容積（MCV）の単位はfLとし、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを入力してください。MCVの結果が印字されない場合は入力不要です。
- ヘマトクリット値の単位は%とし、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを入力してください。

(例)

項目	計測値	使用単位別表記	報告単位
血小板数	255,000/ μL	$25.5 \times 10^4/\mu\text{L}$	$255 \times 10^3/\mu\text{L}$
	25万5千/ μL	$255 \times 10^9/\text{L}$	
白血球数	7,500/ μL	$75 \times 10^2/\mu\text{L}$	$7.5 \times 10^3/\mu\text{L}$
	7千5百/ μL	$7.5 \times 10^9/\text{L}$	
赤血球数	4,200,000/ μL	$420 \times 10^4/\mu\text{L}$	$4.20 \times 10^6/\mu\text{L}$
	4百20万/ μL	$4.20 \times 10^{12}/\text{L}$	

- 測定値入力時には単位変換や試料取り扱い等による誤報告を防ぐために、予め得られたデータに基づいて、「想定されるデータを超えています。単位・試料等の確認をお願いします」とのワーニングが出ることがあります。この場合、再度測定値を確認し入力をお願いします。

注) 昨年までは誤入力に対し解析時に修正を加え評価を行っていましたが、本年度より修正は一切行いません。単位間違い、小数点間違い、試料間違いには十分注意してください。

III. 問い合わせ先

血液検査精度管理調査に関するご不明な点、疑問等についての問い合わせは、施設名、担当者氏名を明記のうえ、メールにて下記の担当者へお願いいたします。

【血液検査担当】 県立延岡病院 臨床検査科 久方 倫子
ketsueki_miyazaki@yahoo.co.jp